

グローバル・マーケット・レター

金融市場部

エコノミック・データ

日付	経済指標	内容	予想比／前回比	
3/3 (月)	ユーロ：消費者物価指数(2月) 米：ISM 製造業景気指数(2月)	前年比 2.4% 50.3	↑ ↓	↓ ↓
3/4 (火)	日：失業率(1月) ユーロ：失業率(1月)	2.5% 6.2%	↑ ↓	→ →
3/5 (水)	ユーロ：生産者物価指数(1月) 米：ISM 非製造業景気指数(2月)	前年比 1.8% 53.5	↑ ↑	↑ ↑
3/6 (木)	ユーロ：小売売上高(1月) 米：貿易収支(1月)	前月比▲0.3% \$▲1,314 億	↓ ↓	↓ ↓
3/7 (金)	米：非農業部門雇用者数(2月) 米：失業率(2月)	前月比 15.1 万人 4.1%	↓ ↑	↑ ↑

出所 (Bloomberg)

マクロ経済

・米国

1 月の製造業新規受注は 3 か月ぶりのプラス、貿易収支は赤字幅が 3 か月連続で拡大するなど、トランプ政権の関税引上げ前の駆け込み需要が影響する。2 月の雇用統計では、失業率が前月から上昇した一方で非農業部門雇用者数は増加、雇用は堅調さを維持する。ISM 製造業景気指数は 4 か月ぶりに低下したものの 2 か月連続、非製造業指数は上昇に転じ 8 か月連続の 50 超、経済は底堅い。FRB はベージュブックを公表、経済は上昇基調を維持するとした上でトランプ政権の政策に係る不確実性の高まりを指摘。パウエル議長は講演で、追加利下げを急ぐ必要はないと発言、市場は 3 月の FOMC での金利据え置きを見込む。トランプ政権は関税政策に再び猶予期間を設定、市場は政権の政策遂行能力に疑念を感じ始める。

・欧州

ユーロ圏 1 月の小売売上高は前月から減少、2 月の消費者物価コア指数は前月から伸びが鈍化、景気低迷に伴い消費は弱含む。ECB は 3/6 の会合で 0.25% の利下げを決定、利下げは 5 会合連続。声明では金融政策は引締めめくではなくなりつつあるとし、スタンスを中立的に修正。ラガルド総裁は会見で、経済は貿易摩擦の激化から低迷リスクが高まる一方、防衛支出の増加は成長に寄与するとした。市場では軍事支出増加に伴い景気拡大と物価上昇の両方が加速するとし、追加利下げへの期待が後退する。

・日本

内閣府は需給ギャップが昨年 10-12 月期にプラスに転じたと発表、プラスは 6 四半期ぶり。これでデフレ脱却の 4 指標全てがプラス転換した。1 月の失業率は 4 か月連続の横ばい、有効求人倍率は 4 か月ぶりの上昇、労働市場では人手不足が続く。2 月の消費者態度指数は 2023 年 3 月以来の水準に低下、消費者マインドは将来のインフレ警戒感から足踏み状態にある。連合は、春闘での賃上げ要求が 1993 年以来的の高水準になると発表。日銀の内田副総裁は講演で、経済・物価の見通しが実現すれば、引続き政策金利を上げる方針と発言。市場では、10 年金利が 15 年ぶりに 1.5% を上回るなど早期利上げを織り込む。

世界株式

	直近値(3/7)	先週比%	昨年初来%	
			現地通貨ベース	円貨ベース
(北・南米)				
ダウ工業株	42,801.72	- 2.4 %	13.6 %	18.9 %
S&P500種	5,770.20	- 3.1 %	21.0 %	26.7 %
ボベスパ	125,034.63	1.8 %	- 6.8 %	- 18.4 %
(欧州)				
ユーロ・ストックス50	5,468.41	0.1 %	20.9 %	24.1 %
FT	8,679.88	- 1.5 %	12.2 %	18.9 %
DAX	23,008.94	2.0 %	37.4 %	41.0 %
(アジア・太平洋)				
日経平均	36,887.17	- 0.7 %	10.2 %	10.2 %
上海総合	3,372.55	1.6 %	13.4 %	16.4 %
ASX200	7,948.17	- 2.7 %	4.7 %	1.0 %
SENSEX	74,332.58	1.5 %	2.9 %	2.9 %

出所 (Bloomberg)

・欧州

EU 特別首脳会合では、128 兆円の軍備計画が承認された。特に独では、次期首相の最有力候補メルツ氏が防衛力強化のため、防衛費が GDP 比 1%を超えても債務ブレーキの対象外とすると発言、欧州経済全体に財政支出拡大の恩恵が及ぶとの期待が広がる。加えて、ECB が市場予想通り利下げを行ったことで、欧州株は大幅上昇、独 DAX 指数は史上最高値を更新した。低成長とウクライナ紛争を背景に欧州株に対しては弱気派が多かったが、財政規律を重視する独の方針転換は、ルビコン川を渡るような出来事として市場はポジティブに反応。当面の欧州株は買戻しを交え、上昇が続きそうだ。

世界債券

(%)

債券利回り(3/7)	2年債	5年債	10年債	先週比 (10年債)
米国	4.002	4.087	4.305	0.095
英国	4.203	4.282	4.638	0.156
フランス	2.397	2.923	3.555	0.410
ドイツ	2.247	2.516	2.836	0.430
イタリア	2.521	3.061	3.958	0.420
スペイン	2.445	2.850	3.497	0.451
日本	0.851	1.124	1.520	0.142
オーストラリア	3.771	3.942	4.404	0.107

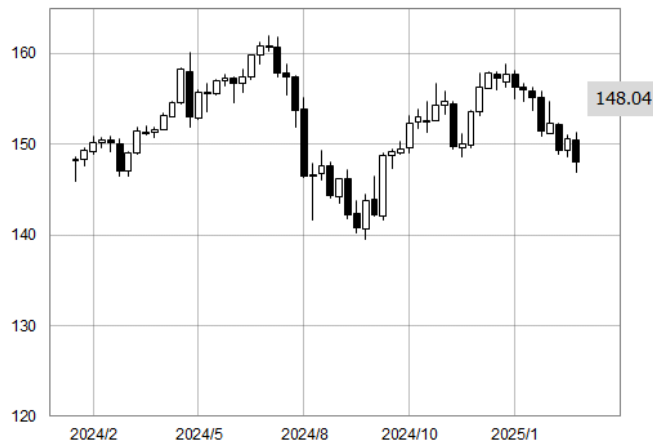
出所 (Bloomberg)

・欧州

EUの巨額な軍備計画や、独の財政支出拡大への方針転換を受け、欧州金利は急上昇。独10年金利は3/5に30bp上昇、過去35年間で最大の1日当たり上昇幅を記録した。ラガルドECB総裁は会見で「緩和局面は終わりに近づいている」と、利下げペース鈍化を示唆したことで金利の反発は続きそうだ。今後、米政権が欧州にも関税引上げの矛先を向ければ、報復関税の導入等で物価上昇が予想される。一方でウクライナ停戦が実現すればエネルギー価格下落によるインフレ鎮静化も期待でき、当面はトランプ氏の言動が注目される。

為替

(ドル・円 週足チャート)



出所 (Bloomberg)
(ユーロ・円 週足チャート)



(豪ドル・円 週足チャート)



(ブラジルレアル・円 週足チャート)

・ブラジル

10-12 月期の GDP 成長率は前期比 0.2%と 2023 年 10-12 月期以来の低い伸びに鈍化、2 月の貿易収支は 3 年ぶりに赤字転落となった。また 1 月の失業率は 6.5%と 2 か月連続で上昇、2 月の消費者信頼感指数は 3 か月連続で悪化し 2 年半ぶりの低水準となり、インフレ高止まりと利上げ継続が影響する。2 月前半までの消費者物価指数は前年比 4.96%と、引続き中銀の政策目標上限 4.5%を上回る。市場は、次回 3/18-19 の政策会合での 1%の追加利上げを見込む。トランプ米大統領は施政方針演説で、ブラジルを名指しし相互関税の開始を表明、経済への影響が懸念される。通貨レアルは、対米ドルでは FRB の利下げペース鈍化が予想され弱含み、対円でも日銀による早期利上げ観測の高まりから弱含みが想定される。

今週の予定

- 3 月 10 日(月) 日：現金給与総額(1 月)、独：鉱工業生産(1 月)
- 3 月 11 日(火) 日：GDP 成長率改定値(10-12 月期)、米：求人件数(1 月)
- 3 月 12 日(水) 日：景況判断(1-3 月期)、米：消費者物価指数(2 月)
- 3 月 13 日(木) ユーロ：鉱工業生産(1 月)、米：生産者物価指数(2 月)
- 3 月 14 日(金) 英：GDP 成長率(1 月)、米：ミシガン大学消費者信頼感指数(3 月)

今週のトピック---命の回数券

還暦を過ぎると、体のそこかしこに不具合が発生してくる。重篤な事態へと繋がるかもとの猜疑心から医者に行くと、何らかの治療や薬を処方してくれるかと思いきや「老化現象」として一刀両断されることが多い。そこで、この治癒できない老化の仕組みについて考えてみる。

一般的に細胞の成長や分裂は予め細胞自体にプログラムされており、例えば人間の手が胎内で出来る時には、当初丸い細胞の塊が指と指の間の細胞が分裂することで手の形になるそうである。つまり生まれた瞬間から細胞の分裂(或いは死)がスタートしており、年齢と共に徐々に人体全体の細胞が死滅していくと考えられる。一方で細胞は分裂しても再生することで元に戻る能力も有しており、この再生に向けた設計図が染色体 DNA である。子供の頃はこの細胞の再生能力が高く、軽い怪我であれば比較的短期間で元の状態にまで治癒するケースも多いが、年齢を重ねると治りづらくなり傷跡も残り易い。原因としては、以前は細胞分裂で DNA のコピーを重ねるとコピーミスが発生、分裂できない細胞や悪性の細胞などに置き換わることで老化或いは病気になると考えられてきた。ところが最近、この細胞の再生回数にそもそも限りがあることが分かってきた。生物の遺伝情報が収納されている染色体 DNA の両端部分はテロメアと呼ばれ、染色体を保護する役割を担っている。このテロメアは細胞が分裂するたびに少しずつ短くなり、それに伴って細胞分裂の回数が減り、やがて分裂できなくなる。これが細胞の老化現象とされる。分裂できなくなった老化細胞からは各種シグナルが発出され、これが糖尿病や心臓、脳など全身の様々な病気の原因と考えられ、医学系大学では糖尿病やがん治療法として、炎症原因を出す老化細胞を除去するワクチンの開発が進められている。

さて、通常テロメアの再生回数は生涯で 60~70 回とされているので、我々は細胞単位で見ると 60~70 回程度の延命の回数券を持っていることになる。使い果たすと老化細胞が増え、結果として体全体で老化が進行する。以上を踏まえると、この回数券をできるだけ温存するのが良い対処方法に思える。そう言えば、ハードなトレーニングをする運動選手の寿命はやや短いように見え、筆者は激しい運動で細胞を痛めつけることを避け、楽なストレッチ運動に止めている。ただ、これは単なる素人考えのようで、テロメア研究で 2009 年にノーベル生理学・医学賞を受賞したブラックバーン博士らによると、「心理ストレスに晒されていないか」「睡眠は十分か」「適度に運動しているか」「健全な食事か」などが大切らしい。この研究によると、睡眠を毎日 7 時間以上とっている高齢者は中年と比べ、また過去 10 年間に運動習慣のある人はそうでない人と比べ、テロメアが長くなるようだ。特に強調しているのがストレスとの関係で、ストレス回避のため瞑想するグループはテロメアが相応に伸びるという研究成果を紹介している。結局、医者にも言われた通り、適度な運動や適切な食生活、良質な睡眠、ストレスを溜めないことが健康・長寿の秘訣のようだ。

ところで長寿といっても、私たち人間は生きるために、常に酸素とブドウ糖を採取して燃やす(酸化現象)ため、細胞は酸化による老化を避けられず、120 歳を越えることは困難とされる。一方で細胞分裂の失敗作として生まれるがん細胞は、多くが回数券から解放されて何回分裂してもテロメアは短くならないらしい。つまり、がん細胞により形成された知的生物が存在すれば、理屈上は不老不死となるようだ。仮に今後 60 年以内に、人間の意識の生命体間の移行が可能となれば、筆者の意識をがん細胞生命体へ移行することで、筆者は不老不死になれるのかもしれない。

担当 清水

【免責事項】

本書は、あおぞら証券株式会社（以下「当社」という。）が、当社及び株式会社あおぞら銀行（以下「あおぞら銀行」という。）のお客さまへ投資の参考となる情報提供を目的に作成したものであり、金融商品に係る取引を勧誘するものではありません。

本書は、当社が、公表されたデータ等又は信頼できると判断した情報に基づいて作成しており、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、当社は、あおぞら銀行その他当社の関係会社（以下「あおぞら銀行等」という。）と独立した立場で本書を作成しており、あおぞら銀行等からお客さまへ提供される他の情報・資料等と分析・見通し・予測・見解等が相違する場合があります。また、本書に記載された見解等の内容のすべては作成時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

投資に際しては、取引の内容及びリスク等を十分にご理解の上、お客さまご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

本書の一部又は全部を無断で複製、送信又は配布等行わないようお願いいたします。

当社及び当社の関係会社は、本書に記載された金融商品についてポジションを保有している場合があります、今後自己勘定で売買を行うことがあります。また、当社及び当社の関係会社は、本書に記載された会社に対し、引受等の投資銀行業務、その他のサービスを提供し、かかる同サービスの勧誘を行うことがあります。

【金融商品取引法に係る重要事項】

手数料等について

当社との取引にあたっては、各金融商品等に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。外貨建ての金融商品等の場合、円貨と外貨、又は異なる通貨間で交換する際の為替レートは、外国為替市場の動向に応じて当社が決定した為替レートによるものといたします。

リスク等について

当社が取扱う各金融商品には、株式相場、金利水準、不動産相場、商品相場等の変動等や、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品、カバードワラント等（以下「裏付け資産」といいます。）

の価格や評価額の変動に伴い、金融商品等の価格が変動することにより損失が生ずるおそれがあります。また、発行者又は保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者又は保証会社等の業務や財産の状況の変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

上記の手数料等およびリスク等は、金融商品ごとに異なりますので、当該金融商品等の契約締結前交付書面や目論見書、又はお客さま向け資料等をよくお読みください。なお、詳細については、当社担当営業員までお問い合わせください。

商号等：あおぞら証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1764号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会